

令和8年度 一般会計当初予算

78億3,114万3千円

令和8年度の当初予算は、一般会計と特別会計を合わせると105億9,947万8千円となりました。また、企業会計である水道事業会計の予算は2ページ『別表2』のとおりです。

【一般会計の状況】

一般会計は総額78億3,114万3千円で、令和7年度に比べ1億1,685万1千円（比率で約1.5%）の増額となりました。これは、令和7年度当初予算が「骨格予算」として編成されていたことや本年度における中学校バリアフリー化改修工事に係る経費が主な要因です。

歳出の主な増減の内容としては、「総務費」が前年度に自治体システム標準化移行負担金等を計上していたことにより、8,377万1千円（7.3%）の減となっています。一方、駅前通り線の改良舗装工事の実施等により「土木費」が1億1,492万1千円（15.2%）の増となっています。また、「教育費」が学校給食共同調理場の炊飯システム取替修繕や上述の理由により、7,193万3千円（10.8%）の増となっています。その他歳出の主な内容については3～4ページのとおりです。

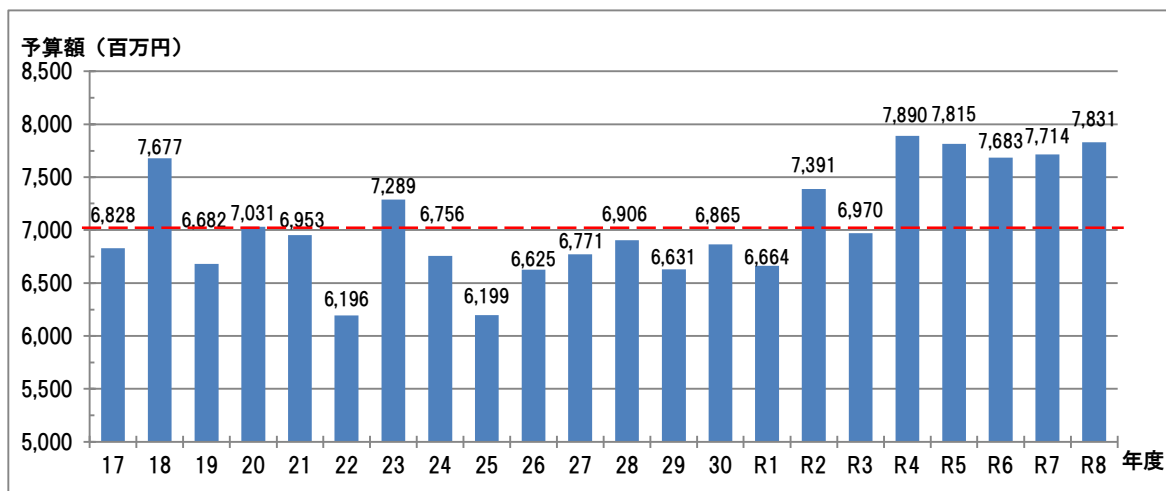
歳入については、令和7年度に温泉健康施設休業の影響により「使用料及び手数料」が1,789万2千円（13.4%）の減、令和7年度に自治体システム標準化・共通化に伴う基幹システムの移行作業を支援するための補助金を計上していたことにより、「諸収入」が8,193万円（37.7%）の減となるなど、自主財源の割合は全体の37.7%となっています。

町道整備等の財源となる「町債（町の借金）」が3,660万（12.2%）の増となったため、依存財源は1億9,005万7千円（4.1%）の増となり、その割合は全体の62.3%と、依然として高い状況にあります。公金横領に伴う元職員の弁償金は63,730千円を計上しています。

※用語解説

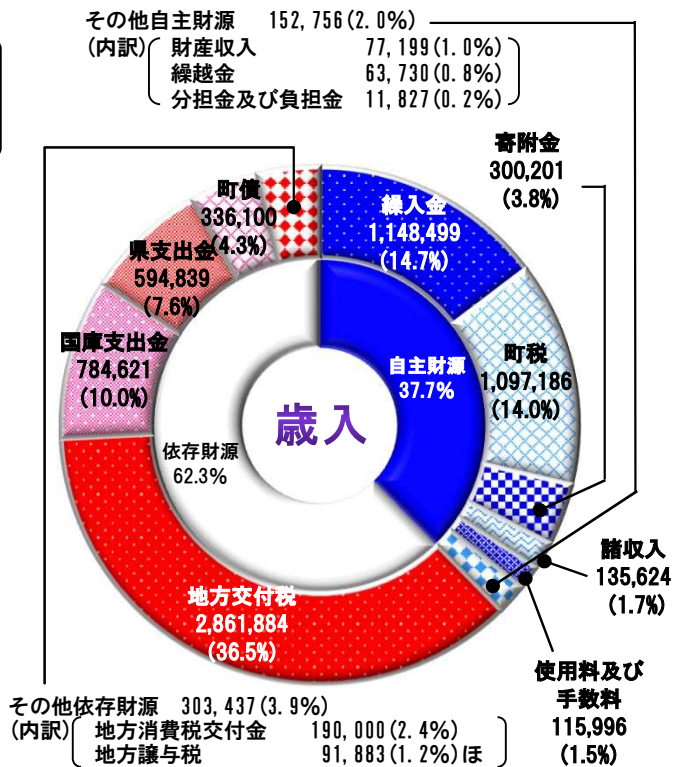
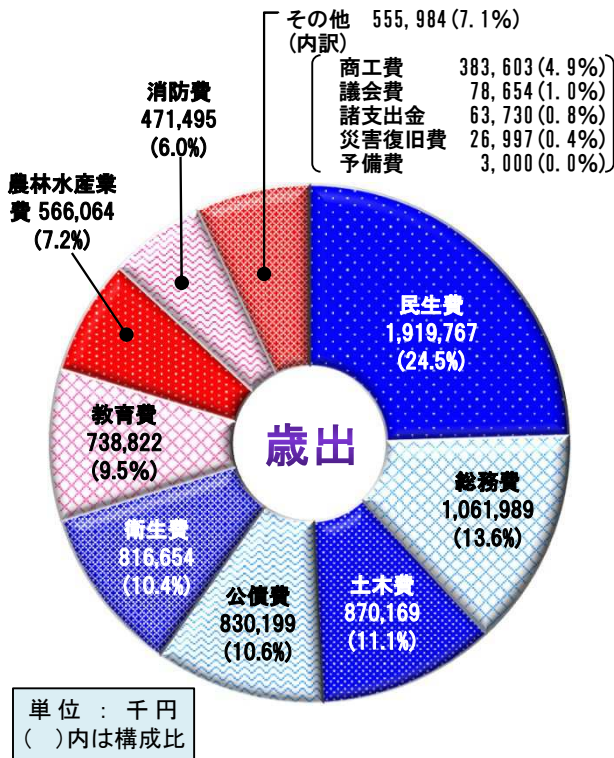
- ・ **骨格予算**：法令上の定めはありませんが、地方公共団体（町）の長や議員の選挙時期等の関係で政策的な判断ができていくという観点から、政策的経費等の予算計上を避け、必要最小限度の経費を計上する予算のことです。
- ・ **自主財源**：町税や使用料などのように、町が自主的に徴収・収納することができる財源。この財源が多いほど行政活動の自主性と安定性が確保されます。
- ・ **依存財源**：地方交付税や国県支出金など、国や県の制度により町に交付される財源。国の予算や施策に大きく影響を受けます。

◎当初予算総額の推移（一般会計）



◎歳出の目的別分類の状況(一般会計)

◎歳入の状況(一般会計)



◎町民1人あたりの一般会計歳出予算額(別表1)

※()内は令和7年度

町民1人あたりの歳出予算額	民生費	総務費	土木費	公債費
976,695円 (938,250) 令和8年3月31日現在 人口:8,018人	239,432円 (233,614)	132,451円 (139,353)	108,527円 (91,857)	103,542円 (106,870)
衛生費	教育費	農林水産業費	消防費	その他
健康増進やごみ、し尿の処理など	学校、幼稚園の管理や生涯学習の推進など	農業、林業、畜産業の振興など	消防・救急業務など	議会運営、商工観光の振興、災害復旧など
101,853円 (103,763)	92,145円 (81,110)	70,599円 (66,651)	58,804円 (51,667)	69,342円 (63,365)

◎一般会計以外の各会計予算規模(別表2)

区	分	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率		
特別会計	国民健康保険事業	12億1,380万4千円	12億8,882万2千円	▲7,501万8千円	▲5.82%		
	介護保険事業	13億750万6千円	12億8,929万6千円	1,821万円	1.41%		
	後期高齢者医療事業	2億4,702万5千円	1億9,514万2千円	5,188万3千円	26.59%		
企業会計	水道事業会計	収益的	収入	2億1,886万円	2億74万8千円	1,811万2千円	9.02%
		支出	2億1,094万2千円	2億31万円	1,063万2千円	5.31%	
	資本的	収入	1,144万6千円	1,370万6千円	▲226万円	▲16.49%	
		支出	1億3,178万5千円	1億2,799万1千円	379万4千円	2.96%	

令和8年度の当初予算に計上された主な内容

教育・文化の振興



●各学校管理事業【教育総務課】

小・中学校の適正な管理に努めるとともに、学校図書を更新等を行い、学習環境の充実を図ります。

令和8年度は栗野中学校・吉松中学校のバリアフリー化に係る工事を行います。さらに、校務支援システムや学校情報通信ネットワークの環境を整備し、教育の質の向上や教職員の負担軽減を図ります。



●交通対策事業【企画財政課】

JR肥薩線が被災したことに伴い、本町から高校等へ通学する生徒や保護者に対して、負担軽減や通学の時間短縮を図り、充実した学校生活を送れるように町独自のスクールバス運行を行います。



●各地区の公民館施設及び集会所の整備【生涯学習課】

各地区の公民館施設及び集会所を計画的に整備・改修し、地区公民館活動の充実を図ります。令和8年度は栗野中央公民館の屋上防水修繕を実施し、施設の長寿命化を図ります。



●くりの図書館運営事業【生涯学習課】

新たな図書等の購入や各種読み聞かせイベントを実施し、魅力的な図書館づくりに努めるとともに、読書意欲の向上と読書活動の推進を図ります。

社会基盤・生活環境の整備



●町内の道路等維持補修及び改良舗装【建設課】

老朽化した町道の維持補修や改良舗装工事等を行い、安全で利便性の高い道路、交通体系の整備に努めます。



●総合交流施設活用検討事業【健康増進課】

湧水町民の健康増進と憩いの場として活用できるように、総合交流施設のリニューアルにむけた支援業務委託を行っていきます。

また、子育て支援として屋内遊具設備を設置します。



●都市計画推進事業【まちづくり推進課】

国の都市空間情報デジタル基盤構築支援事業を活用し、都市計画だけでなく浸水想定区域の3D表示など防災面での活用を図るための、3D都市モデル整備業務を進めていきます。



●下場土地区画整理事業【まちづくり推進課】

継続事業である下場地区の区画整理を行い、良好な市街地を形成して地域活性化を図ります。



●消防施設整備事業【総務課】

轟地区、中津川地区、般若寺地区の消火栓の取替修繕を行い、迅速な消防活動を行える環境を整え、住民の生命・財産を守り安全で安心して生活できるように努めます。

令和8年度の当初予算に計上された主な内容

保健・福祉の増進



●子育て世帯支援事業及び母子保健事業【健康増進課】

新生児子育て応援給付金等の給付及び妊産婦の健診や、産後ケア利用者に対する助成を実施し、児童福祉及び母子保健の向上を図るとともに、保育料の無償化を継続することで、誰もが安心して子どもを生み育てる社会づくりを推進します。



●保育所等給食支援事業及び学校給食管理事業【健康増進課・教育総務課】

町内の小中学校、幼稚園及び保育所等の給食費の無償化を行うことで、物価高騰による保護者の負担軽減を図るとともに、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食を実施します。令和8年度は学校給食共同調理場の炊飯システムの取替修繕を行います。



●障害児支援事業【健康増進課】

児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用する児童の給食費・おやつ代の無償化を行うとともに、子どもの発達段階にあった個別支援計画を作成し、様々な療育を行っていきます。令和8年度は、子ども発達支援センターみなの施設老朽化に伴い、栗野保健センターへの移転を計画いたします。



●高齢者訪問給食サービス事業【長寿福祉課】

一人暮らし、もしくは夫婦暮らし等の高齢者に対し、昼食及び夕食を提供し自立した生活の維持や安否確認などで孤独感の解消を図り、在宅福祉の向上を図ります。

産業・地域の振興



●農業振興負担金補助金事業【産業振興課】

担い手・兼業農家が機械導入する際に係る経費の一部を補助するなど、効果的な補助事業を実施することで、本町の農業振興及び農業経営の安定化を図ります。



●森林環境税関係事業【産業振興課】

森林が伐期を迎え伐採が増加している中、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度の円滑な推進、適正な森林整備の推進を図ります。



●高原フェスタ補助事業【商工観光PR課】

自然に触れ親しみ、芸術に対する認識を高めるとともに、人々の交流の拡大を図るため、湧水町高原フェスタを行います。令和8年度以降は、チェーンソーアート大会と造形展を同時実施いたします。



●観光施設維持管理運営事業【商工観光PR課】

訪れた方が安心して観光できる施設の管理に努めます。令和8年度は八幡大地獄整備に伴い、施設案内の看板を作成いたします。



●定住促進事業【商工観光PR課】

人口減少対策として、空家バンクに登録された空家のリフォーム費用等に対する支援や、町内に新築住宅を取得(建設・購入)した方に対する補助を行います。また、関東、関西での移住相談会へ参加し、移住促進と移住後のサポート、地域と移住者間のコミュニケーションの推進を図ります。

地方債の前前年度末における現在高並びに前年度末
及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

(単位：千円)

区 分	前前年度末現在高	前 年 度 末 現 在 高 見 込 額	当 該 年 度 中 増 減 見 込 み		当 該 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 起 債 見 込 額	当 該 年 度 中 元 金 償 還 見 込 額	
公 共 事 業 等 債	273,747	273,029	13,800	21,110	265,719
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	81,628	75,399		6,271	69,128
災 害 復 旧 事 業 債	41,259	47,045	6,700	6,062	47,683
教 育 ・ 福 祉 施 設 等 整 備 事 業 債	57,286	82,234	32,400	11,269	103,365
一 般 単 独 事 業 債	1,833,244	1,722,871	12,000	223,953	1,510,918
う ち 合 併 特 例 事 業 債	848,760	751,209		93,020	658,189
う ち 地 方 道 路 等 整 備 事 業 債	476,241	368,245		77,730	290,515
う ち (新) 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	462,336	540,373		46,975	493,398
過 疎 対 策 事 業 債	2,598,683	2,646,504	260,200	273,074	2,633,630
公 有 林 整 備 事 業 債	5,245	4,095		1,170	2,925
財 源 対 策 債	269,159	250,935	11,000	28,692	233,243
減 収 補 填 債	8,657	8,116		541	7,575
減 税 補 て ん 債	1,729	524		524	
臨 時 財 政 対 策 債	1,917,919	1,679,028		222,771	1,456,257
計	7,088,556	6,789,780	336,100	795,437	6,330,443

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(単位:千円)

区分	款	項	目	予算額	左の財源内訳				
					特定財源			一般財源	
					国県支出金	地方債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他
社会 福祉	3 民生費	1 社会福祉費	3 障害者福祉費	427,672	304,897		20,226	27,080	75,469
	3 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉総務費	659,466	429,814	17,000	98,324	41,757	72,571
	3 民生費	4 老人福祉費	1 老人福祉費	122,091	830	33,400	11,824	7,731	68,306
	小計			1,209,229	735,541	50,400	130,374	76,568	216,346
社会 保険	3 民生費	4 老人福祉費	2 介護保険費	207,567	13,480		9,664	13,143	171,280
	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	113,921	58,104		3,679	7,214	44,924
	小計			321,488	71,584		13,343	20,357	216,204
保健 衛生	4 衛生費	1 保健衛生費	2 予防費	32,840			4,363	2,079	26,398
	4 衛生費	1 保健衛生費	5 健康増進費	15,725	779		7,166	996	6,784
	小計			48,565	779		11,529	3,075	33,182
合計				1,579,282	807,904	50,400	155,246	100,000	465,732

※予算額は、人件費を含まない額である。

入湯税が充てられる経費

(単位:千円)

区分	款	項	目	予算額	左の財源内訳				
					特定財源			一般財源	
					国県支出金	地方債	その他	入湯税	その他
観光 振興	6 商工費	1 商工費	3 観光費	77,793	0	0	12,948	60	64,785